

平成30年度
第1回朝日地域振興懇談会

会議録（概要）

期日：平成30年6月4日（月）

場所：朝日庁舎 大会議室

平成30年度 第1回 朝日地域振興懇談会会議録（概要）

- 日 時 : 平成30年6月4日（月） 13時30分から16時10分まで
- 会 場 : 朝日庁舎 大会議室
- 出席委員 : 成沢日登司、佐藤泉三、佐藤清、佐藤宥男、渡部智也、難波智明、渡部巖、
帯刀とく子、渡部昌樹、山口弘美、工藤悦夫、渡部順子
- 欠席委員 : 小野寺太、宮崎正視、渡部小枝
- 市側出席職員 :
 - 【庁舎】 朝日庁舎支所長、総務企画課長、市民福祉課長、産業建設課長、
事務局（総務企画課職員）
 - 【本所】 企画部地域振興課職員

一次 第一

<委嘱状交付>

1. 開 会

2. あいさつ

3. 委員・職員紹介

4. 報告

(1) 平成30年度朝日地域主要事業について 資料1

(2) 朝日地域市営バス運行状況について 資料2

5. 協 議

(1) ・鶴岡市第2次総合計画、朝日地域振興計画、地域まちづくり未来事業について、
鶴岡市第2次総合計画の策定について 資料3

・第1次総合計画（抜粋）、朝日地域振興計画（平成26年3月）及び平成30年度朝日地域ま
ちづくり未来事業予算概要 資料4

・朝日地域振興計画及び地域まちづくり未来計画の策定について 資料5

・これからの10年で鶴岡市（朝日地域）のまちづくりに重視したい着眼点 資料6

(2) その他

6. その他

7. 閉 会

－ 委嘱状交付 －

1. 開 会 13時30分（進行 総務企画課長）

2. あいさつ

会長

みなさんお忙しいところ今日の会議にご出席いただきありがとうございます。遡ってみますと昨年の9月21日に集まって以来の会議となり、また新たな委員も加わって今年の会議が始まろうとしているのだと感じます。今回の会議は計画策定に係る協議を主な議題としておりますが、まちづくりに重視したい着眼点などの観点も含め進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

朝日庁舎支所長

本日は、何かとご多用のところ、第1回朝日地域振興懇談会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。また、皆様には日頃から市行政の各分野におきまして、ご理解・ご協力を賜っておりますことに、改めて感謝申し上げます。

さて、今年の冬は、記録的な豪雪ということで大網、大鳥では積雪が4m近くに達しました。また、大泉でも3mを超えるなど昭和48年以来の大雪となったところでございます。このようなことから庁舎では、1月5日に2年連続で豪雪災害警戒態勢を配備し、2月6日には豪雪対策本部を7年ぶりに設置しました。この大雪や寒波により建物の倒壊や除雪作業に伴う人身事故、水道管の破裂などの被害が多く発生する事態となりました。被害に会われた皆様には心からお見舞い申し上げます。しかしその後は雪解けが順調に進み、田植などの農作業も一部山間部などでは終わっていませんが、概ね平年どおりに進んでいるようでございます。これからは梅雨の時期になりますが、事故には充分気をつけて農作業にあたっていただきたいと思います。

さて本日の懇談会ですが、平成31年度を初年度として本市の行政運営の基本となる第二次鶴岡市総合計画と、それに伴う朝日地域振興計画の策定、合わせて、地域まちづくり未来計画の策定について皆様からご意見をいただきたいと思います。昨年度の地域振興懇談会は9月に開催しており、平成29年度の2回目は11月に開催予定でしたが、新市長の就任などもあり開催が遅くなってしまい、今回の開催となりました。各計画の策定スケジュールについては非常にタイトな期間での作業となりますが、将来の鶴岡市と朝日地域の発展に向けて夢が描ける計画にしていきたいと考えております。また、朝日地域振興計画については、これまで福祉分野が掲載されていなかったこともあり、できれば健康福祉関係についても盛り込んでいければと思います。今年度の懇談会は4回の開催を予定しております。皆様から活発なご意見を賜りますようお願いいたしまして、あいさついたします。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3. 委員紹介 委員紹介・職員紹介（総務企画課長）

4. 報告 (1) 平成30年度朝日地域主要事業について 資料1
(2) 朝日地域市営バス運行状況について 資料2
概要の説明（総務企画課長）

5. 協 議

会長 それでは協議（１）について事務局の説明をお願いします。

（説明：事務局）

会長 ただ今事務局から説明がありました。資料は事前配布されていますので、皆様からご意見をいただきたいと思います。

委員 これから１０年間の計画という事で、若い人が夢を持って暮らせる場所であることが一番だと思う。日頃感じていることとしては若い人は鶴岡市街に通勤している人が非常に多い。せめて朝の通勤時間帯だけでも国道１１２号の信号を青にしたりモデル的に信号制御を調整して信号待ちを減らし、極力ノンストップで走れたら若い人は喜ぶのではないかと思う。

委員 地域の活性化やいきいきとしたまちづくりを考える時に、人口減少が進むと地域は廃れるというのが皆さんの共通認識だと思う。地域外への流出も止まらない傾向にあるが、朝日地域に何とか住み続けてもらうような施策を早急に取り組んでもらいたいと思う。人口が流出しなければ地域の商工業もある程度、成り立つと考えている。

委員 特に意見は持ち合わせていません。ただ、総合計画審議会資料からの抜粋で添付されている鶴岡市の人口、年齢区分別等の説明をもう少し詳しくお願いしたい。

事務局 審議会資料として公開されている情報で、後日補足も加えて皆様に配布したい。

委員 人口減少は統計上もある程度予想されているところではあるが、若年者・高齢者共に住みやすいような地域環境整備は必要では。宅地造成や企業誘致など市全体でも取り組んでいると思うが、朝日でも考えてもらいたいと思う。また、インバウンドといった海外からの観光客にどんどん地域にも来てもらえるような施策が必要だと思う。若手職員メインで検討してはどうか。また、中高一貫校の話もあるが市としては賛成している立場かお聞きしたい。

総務企画課長 所管は学校教育課となるが、庄内に中高一貫校というのは地域を上げて積極的に誘致をしていた訳ではあるが、県から出された鶴南校と鶴北高を統合して鶴北高を中学校にするという案については、そのようなやり方は想定していなかった為いろいろな意見が出てきたのだと思うが、市としては基本的に中高一貫校を求める姿勢に変わりないと思う。

委員 自分は春の緑、秋の紅葉など朝日の地域独特の四季折々の自然豊かなところに魅力を感じているが、人口減少が課題となっているように、地域を引き継ぐ人がいないと感じる。私は地域のおばあさん達が作っていた「ぶどっ葉もち」を作って販売しているが、一人だけで作っているためなかなかたくさん作れず、引き継いで協力してくれる若い人もなかなかいない。大網地区で取り組んでいる小さな拠点づくりのモデル事業でも私ともう一人の人が個人的に調理場をもって部員に登録しているが、それでうまく続くのか。新しく整備する予定のコミセンにも調理場などを予定しているが、若い人は少なく、集まるとしても５０代以上の人が主だと思う。うまくいくのか不安なところもある。

会長 大鳥も若い人はいない。行沢のとちもちも同じような状況だと聞いている。また、若い人が家にいても覚える気がないようで、伝統的なものに若い人が興味を持って

くれないのも課題だと感じている。

委員

鶴岡市にはサムライシルクというキャッチフレーズがあるが、朝日にも地域外の人も分かりやすいキャッチフレーズがあればいいのにと考えている。また、せっかく鶴岡がユネスコの食文化都市に認定されて3年も経過するため、伝統食をどのように残すかという施策もあるべきだと思う。また、これまで福祉の施策がなく、元気な高齢者を活かしてワラビ採りの手伝い等もお願いできる人材バンク的な、互助によって生きられる仕組みもあつたらいいのではないか。私もコミセンの仕事と山の恵みの二足のわらじで収入を得ており、まさに自然に生かされていると感じている。計画にもそのような記述もあれば嬉しいと思う。

会長

大鳥でも転作田でワラビを植えて今たくさん採れる状態であるが、人手が少なく全て取れない。委員の発言にあつたような人材バンクのような仕組みがあると私もいいと思う。

委員

朝日に住んでいてすごく不便だと感じるのは冬の大雪で、何回も雪下ろしをしなければならず、それがイヤで出ていく人もいるかと思う。朝日は山間地帯で森林の面積も多く雪も多いので、自然の資源を有効に活用できる工夫はないかと考えている。資料にも循環をキーワードと書いており、先日朝日スーパーライン利用促進協議会の総会に出席した際、木質バイオマスが今後伸びる可能性があり、発電はもちろん新素材のセルロースナノファイバーなどの利用も研究されているという話も聞いた。豊かな森林資源を有効に活用する地域振興の施策を検討できればと思う。

委員

合併後13年経過したが、支所機能の役割のあり方についてどのように議論されているか。本所と支所の役割分担が今のままでよいのかと感じており、急激に進む少子高齢化に対応しなければいけないときに、最も身近な支所機能が重要だと思うので、そのあたりのサービスもこれまでとは違った形で考えていかなければならないと思う。というのは、支所機能の強化と地域性の配慮をより考えていくべきで、支所と地域の関わりを明確にしていくべきと考えている。地域の声を吸い上げ、統一化された行政の中でどう反映させてもらうか、地域の声をしっかり聴いて本所の担当課へつなぎ、そして本所はその組織力と専門性を最大限に生かして地域の行政施策に反映させていく、そんな流れをぜひ作ってもらいたい。単なる簡素化や効率化だけではない組織の在り方を、総合計画を検討する際に第一に考えるべきだと思う。人口減少対策についても、市全体として取り組むことはもちろんあると思うが、それぞれの地域の在り方についてもきちっとした位置づけをしてほしい。単なる平準化で処理されるものではない。また人口が減るに従い高齢化も進むことになり、顕著にそれが現れるのが山村地域であり、新たな課題が出てくる気がしてならない。高齢になってもいきいきと地域で暮らせることが若い人にも地域で暮らす意義を引き継ぐことになると思うので、従来の農業、景観、伝統以外の方針以外にも触れるべきである。地域の在り方についても他地域と画一的にならないよう特段の配慮を願いたい。

総務企画課長

計画作りに反映する意見を頂戴するという趣旨のため今後の計画に盛り込むべきであるとか、資源活用の工夫やキャッチフレーズなどについても他の委員の皆様からもご意見をいただきたいと思う。

委員 計画だけみれば本当に立派だと思うが、住んでいる人がいきいきと暮らせるよう、画一的にならないような地域配慮について、地域差があると思うので、地域特性を生かせるよう意見をつないでもらいたい。

委員 スポーツ関係でもっとイベントや体育施設の充実を検討すべき。体育館のシャワー一室も壊れていて何年も使えない状況。運動させるだけでなく運動施設を充実させた方がよい。

委員 高齢者になって、これからどうやって元気に暮らしていけばよいか日頃から考えている。社会福祉協議会で行っている「なり元気塾」等に参加したりしているが、これからの高齢者は極力自分のことを自分でできるよう、介護サービスをあまり使わないよう健康でいなければならないと感じている。また、今は車を運転できるが、運転ができなくなったらみんなで集える場所があったらいいと思う。公民館もあるが二階や段差があり改築も大変だと思うので、どの地域の老人もみんなで集える場所があればよい。これからもっと福祉の面にも力を入れてもらいたい。

二つ目として、朝日はやはり自然を利用した観光振興だと思う。最近では大網地区の月山筍の収穫体験など、他の地域からも人が来ているようだ。六十里越街道をはじめ観光や大平わらび園などの体験はとても魅力があると思う。産直あさひ・グーの山のごっつおまつりも北月山荘で同じような企画をやっていたが、グーよりも品数は少なかった。山のごちそうや温泉なども組み合わせればよりお客が来るのではないか。朝日に暮らすお婆さんたちには山の恵みを生かした食文化などの知識があり、地域の人口は減っていく可能性はあるが、高齢者の経験を活かすやり方をもっと検討してはどうか。

委員 今後10年先を見据えた朝日地域の将来に漠然とした不安はあるが、やはり行政が主導する形でやっていただくしかなく、自分にできることは集落内の役員としての職務に誠実に取り組むことだと考えている。行政から企業誘致とか若い人が外に出ていかないような対策を優先しないと、高齢者が増え若い人が減っていく地域になるのではと心配している。働ける場所がたくさんあったり、高校や短大、大学の在り方も見直すなど、若い人が外に出ていかない対策を考えるべきだと思う。

(5分間休憩)

会長 それでは再開します。これからは、これまでの取り組みを踏まえた具体的な内容でも結構ですし、抽象的にこうあるべきという意見でも結構ですので、ご意見を頂戴したいと思います。

情報提供ということになりますが、去年の10月に私が所属する山形県シェアリングネイチャー協会が山形県知事からの環境学習支援団体という認定を受け、環境学習に以降3年間取り組むことになりました。なぜ認定を受けたかという、いろいろな学校の生徒を山に連れて行って自然体験、春はなめこの植え付け、秋は収穫体験などの活動は学校を通して行っている。今の学校は全てそのようなプログラムを取り入れることになっているようだが、朝日の学校はあまり地域の活動に目を向けてくれず、主に酒田や三川の横山小、鶴岡の中央児童館などの団体と連携して10年近く活動している。その時子どもだったが今大人になってタキタロウまつりに手伝いに来たりしてくれるなど、地域との繋がりが生まれている。自然体験ができ

るフィールドを整備すれば、もっと注目されるのではと思う。自然の恵みを子ども達にもっと体験させたい。

また、大鳥地区の総会の時、地域おこし協力隊を地区のお金を使っても良いのもっと導入したいという声もあった。大鳥には協力隊が2名配置され、期間が終わっても地域に住んでくれて住民も大変ありがたく感じているためである。

委員

要望ですが子どもたちに関して最近誘拐などのニュースが多い。大網地区にも注連寺や大日坊、棚田など観光できる場所があり、他地域や県外からも車で多くの人がある。特に大日坊にくる観光客から、皇壇の杉はどこにあるかよく聞かれる。私もよく道を聞かれて教えるが、子供が道を聞かれて悪い人だと車で誘拐される可能性もあると最近感じた。防犯の面でおまわりさんとかにパトロールをしてもらいたい。

毎回この委員になって言っているが、缶詰加工所が朝日に欲しい。温海の小名部のほうに出して10数人は登録されていると思うが、自分たちで持っていこうとしたときに誰が持っていくのかとか、数量がまとまらないといった問題があり、朝日に1軒ぐらい加工所があればという話になる。水ものばかりでなく乾燥ものとかができる施設があればお菓子などの加工にも使える。

産業建設課長

農産物の加工施設について。要望があれば答えることは可能だが、加工所が欲しいから作りましょうと、うまくいった試しは全国的にもなく課題である。まずは地域にどんな産物があるのか、どのように加工したいのか、それを誰がやるのか、どうやって売るのかという仕組みを整理するのが先決だと考えている。施設を作ってもやる人がいなくなって単に施設が残ったという事にならないためにも、売り方、作り方、原料の供給の仕方などが上手く整理がついたときに現在ある色々な補助事業を検討させていただきたい。

総務企画課長

新潟市のような事件があると他人ごとではなく、観光客の期待に子供たちが応えるのも難しいのだと思う。学校でも不審者対応ということでやっており、地域内でも見守り隊ということで地域の厚意で対応いただいたりしている。警察でも巡回のパトロールはしているが、特段今意見があったことで行政が今以上にパトロールを強化するのは難しいと考えている。今すぐ強化するとは言えないが、どこを重点的に行うべきかご要望を聞きながら関係各所にお伝えしていく。

委員

私は庄内柿を作っているが、(熊出地区の)栗山にも数か所圃場があり、幹線農道が完成して非常に使いやすくなった。栗山にはブドウや柿の生産者も多数おり、普通の田んぼ道よりもずっと交通量がある。幹線だけでなく枝線も整備してもらいたい。それから、朝日には庄内柿の部会があって生産者が80名程度おり、がんばっている。羽黒などに比べてもずっと品質の良いものを朝日で作っている。これからもどこからも負けない柿を作っていきたいと思うので、月山ワインや山ぶどうだけに支援するのではなく庄内柿にも行政から力を入れてもらいたい。

委員

先ほど協力隊の話もあったが、農業も林業も工業も商業も後継者不足だと感じている。例えば外部の人など興味のある人から担ってもらうことも考え、農林工産業の教育も充実していけたらと思う。今後担い手がいないという事は山間部の農地の荒廃が進むことに繋がるため、後継者の教育に注力しなければならないと思う。

委員 質問だが、総合計画の策定に当たっては専門委員会と資料に記載があるが、どう
いう方々が専門委員会の委員となっているのか。若者や子育て世代、障害者などと
いった方も委員に入っているのか。

支所長 5つの専門委員会があり、子育ての代表やスポーツ関係、消防、医療、福祉など、
それぞれの専門員会ごとに各分野のエキスパートの方に入ってもらっている。また、
女性委員の登用も求められているため半分以上が女性委員の委員会もあり、地域か
らの委員選出についてもバランスを考慮し選出している。

委員 一つは公共交通確保の問題で、昨年から市バスも運行した訳だが、高齢者の場合
免許返納だけでなく、高齢者の行動範囲が狭まるとどうしても引きこもりがちにな
ってしまい、社会保障などいろいろな面で行政負担も増えることを考えるとできる
だけ高齢者の移動範囲を広げ自立して行動してもらうことが大事だと思う。ぜひ今
のバスの更なる拡充をお願いしたい。高校生の場合も子育て支援につながるが、親
が送迎しないと部活動もできないというのが実態である。土日は減便となっており
親が送迎しなければならず負担となっている。最近バスは乗り放題や便利な運賃
制度もできてきたが、そもそもバスが運行していなければ無意味であるため、土日
運行や増便などを要望したい。

二つ目は先ほど体育館のシャワー修繕の意見があったが、あわせて体育館のトイ
レについても洋式トイレを1基ぐらいはぜひ設置してほしい。高齢者が増えている
ため、配慮をお願いしたい。去年も要望したが、学校もまだできていないのと言
われたが、子供たちはまだ若いから緊急度から言えば次でよいのではないだろうか。

なお、鶴岡市には恵まれた温泉が4ヵ所あるが、健康づくりに温泉をぜひ活用し
た取り組みをお願いしたい。健康は人生を送る上で宝であり誰もが望むことである。
まして高齢社会になっていった時に介護の世話になる事もやむを得ずあるかと思
うが、出来るだけ若い世代に負担をかけないようにしていくためにも、高齢者が自ら
の健康づくりに関心を持って邁進することとそのための環境整備が大事だと思う。
温泉だけが大事とは言わないがせっかく四つあるので、うまく活用した健康づくり
や既存の市の施策とも合わせた活用もあると思うので、総合的に広く活用を検討し
てほしい。

総務企画課長 公共交通については先ほど説明したように昨年度から庄内交通のバス路線の縮小
を受け市営バスを運行している。初めてのことで予測がつかなかったこともあり、
どの程度利用されるか心配していたところであるが、現在の2便運行では一定の利
用者があると整理している。土日運行や増便に関しても要望をいただいているが、
いざ運行して利用者がいなかったという状態は避けたいため、実証実験を含めた需
要調査についても検討している。また観光客対応のための土日運行という声も承っ
ており、生活交通の確保対策ではないものの、産業建設課を中心に対応を検討して
いる。庄内交通のバスも土日の朝夕は大鳥、田麦俣まで運行しておらず高校生が部
活に行けないという声も伺っていたので、今年のダイヤ改正を検討する際に庄内交
通にはこちらからも要望を申し上げて、今年度から平日と土日の運行時間は全く異
なるような配慮を頂いており、部活目的での利用にも対応できていると考えている

が、落合から大鳥・田麦俣方面へ接続させる形で市営バスを運行させるといった方法も検討を進めているので、もう少し時間をいただきたい。免許返納についても今年度から免許返納者に対して1万円のタクシー券かバスの回数券を交付する制度などが始まっている。4月以降制度が始まってから全市の利用者約100名のうち、朝日の住民はいないと聞いている。やはり、免許を返納すると近くの山や農地にも行けなくなることからなかなか進まないことが考えられる。いずれにせよバス運行に関しては、ニーズがあればどんどん拡充するよう検討していきたいのでご理解をお願いしたい。

トイレや温泉の活用については次の懇談会までには計画にどのように盛り込んで行くか整理しながら、この会でどのように計画作りに反映させていくか、また改めてご意見を伺いたい。

委員

学校、教育の事について。朝日中だけ特別にというのは難しいと思うが、朝日中は年々生徒数も減り、やりたい部活もできなくなるなど色々なマイナスが出てきてしまっている。これからはますます深刻になると思うのだが、例えば保護者が色々な教育を受けさせたいと思って鶴岡に送迎できる家庭であれば塾などにも通えると思うが、なかなかそれも容易ではない。私の考えでは学校の先生が楽しく学べる授業をすれば生徒の学力も自然と伸びてくると思うのだが、生徒が少なれば先生も少なく、生徒も先生を選べないため、モデル事業的にスーパーな教師を呼んで来れば自然と学力も向上するのではないか。学力が向上すれば職を求めて地域から離れるのではないかという意見もあるが、そこはこれから外資系の企業や様々な先進的な研究機関を誘致してもらいながら、高学歴者の受け入れも考えてもらえればありがたい。また、中学生に対して地元食材を使った料理教室を地域の人から教えてもらったり、伝統文化や芸術芸能を披露してもらうなどもおもしろいと考えている。また、感性教育講演会なども例年朝日中で開催されており、今年はJAXAに関係した方に講演を依頼できないか話を進めてもらっている。このように朝日にいながら最先端にふれられるような機会もすごく大切なのではないか。朝日にいる方がナンバースクールに通うよりも色々なことを経験し学べるとか、子供たちにメリットを享受できるような体制が整備できないかと考えていた。

また先ほど子供の見守りの意見があったが、PTAでも登校時は良いが下校時間がまちまちで対応が難しいと課題と感じている。行政からもなんとか協力してもらえればありがたいと思う。

委員

今の意見に関連して、4、5年前に朝日の生徒が減ったため教職員も減り、美術の授業が学校で面倒を見れなくなった。その年は産業文化まつりに絵も1点も出展が無く、その時私は義務教育の場でそんな形でいいのか、生徒が少ないから学べない教科があつていいのかと意見を言った。その後すぐに、他の学校と兼務の先生が配置となり非常に有難かったが、少人数学校に対する配慮はやはり行政でカバーしてほしい。今後ますます子どもは減る傾向にあり、専任の先生がいれば一番良いが難しい時は櫛引と兼務にするとか、義務教育であることを第一に考え教職員の確保を行い、基礎的なことを子どもに教育してほしい。

- 委員 関連して、私の子どもが中学生の時も主要5教科の専任の先生が一年生の時にいなくて、せめて主要5教科は産代とか兼務ではなく、正規の先生を揃えてほしいと要望し、今は対応してもらったので非常に有難かった。一年生の時は美術の先生がいなくて産業文化まつりに作品を展示することができなかった。それも含め、資料6を見ると、子どもに対するアプローチの文言がないと気づいた。子どもの教育をどのようにするかが漏れているのではないか。先ほどの意見で朝日にてもいい授業を受けられるようにとあったが、サテライト授業方式で都会と同じ授業を受けられるような手だてもあるのではないか。
- また落合から上田沢に向かって進むと今年になって休耕田が目立つようになった。非常に多くなったと感じるため、休耕地を活用した体験型農業というか、そういうグループや法人化というか、そういうことも行政から誘導するなど考えてもらえたら有難い。
- また質問だが、朝日にIターン者はどのぐらいいるのか。
- 支所長 全体的な移住者の状況については地域振興課で把握しているが、朝日地域の事に関して詳しいことは分からない。
- 委員 東岩本に蔵元を作ってすごく頑張っている方がいると聞いたが。酒蔵だったか御屋だったかで。
- 支所長 今は住んでいないと聞いているが。
- 委員 せっかく世界に目を向けるようないい方が朝日に移住してくれたと聞いていたので、いなくなったという今の話はショックです。
- 事務局 先日聞いた話では、現時点では仕事の都合で移住先を離れ、東京方面に住まいし仕事をしているとの情報だった。
- 支所長 本日ははっきりした質問以外は全て計画づくりのための意見として活かして行きたいという意図もあるため、あまり意見に対して回答はしていなかったが、支所機能について意見が先ほどあったことも有り、現在庁舎の在り方検討会ということで話し合いも行っている。今年の2月に地域まちづくり検討会議というところで今後庁舎の在り方、例えば今後の計画の中で行政に特に求められる人材や組織体制があればなるべく沿うようにしていきたいが、行革も同時進行で人員も減っており難しいところもあるが、話し合いを進めていく。また協力隊も単にほしただけでは呼べないが、将来の目的を地域で話し合い、そのための事業を行うための人材の確保のためであれば可能性はあるので、そのような取り組みも希望があれば取り組んでいきたい。
- 委員 庁舎の改築もちらほらと噂を聞くので、組織の在り方も含め施設の機能としてどのような役割分担をしていくのかという考えが根底にないとどんな建物が必要かという話にも結び付かないのではないかと考えている。
- 委員 会議案内では、鶴岡市第2次総合計画、朝日地域振興計画、地域まちづくり未来事業が別々の項目だったが、協議では全てまとめた話だった。計画ごとに協議項目を分けた方が、それに応じた意見も出やすかったのでは。
- 事務局 総合計画、地域振興計画、まちづくり未来事業計画の関係について冒頭説明させていただいたが、各計画ともイメージ図のとおりそれぞれが関連する関係する計画

ということで、今回はまちづくり未来計画も含んだ形で地域振興計画等計画策定の大きな方向性についてご意見を伺ったものであったため、ご案内と違った進行になってしまったことについてはお詫び申し上げたい。次回会議については方向性の部分での地域振興計画と具体の事業としてのまちづくり未来計画という形で皆様にお示しして意見を求めたいと考えているので、引き続きよろしくお願ひしたい。

会長

それでは以上で協議を終わります。次回が8月ということですので、引き続きよろしくお願ひします。ありがとうございました。

総務企画課長

工藤会長、ありがとうございました。本日皆様からご発言いただいた内容については後日整理の上議事録として取りまとめ出席の委員のご確認をいただいた後、鶴岡市のホームページで公開予定です。またいただいたご意見を元に朝日地域振興実施計画、朝日地域まちづくり未来計画の案をとりまとめ、次回懇談会にお諮りしたい。

6.のその他ということで、昨年の懇談会の際に朝日庁舎の再整備計画についてお示ししていたが、現在の状況という事で報告申し上げますと、その後市長が代わったこともあり改めて内部で検討しているが、先般基本構想で示した朝日中央コミュニティセンターとの一体的な整備については、雪や駐車場などの制約からデメリットが大きいとの話になり、現在の庁舎敷地内に単独で新築したほうがよいのではないかと考えている。その後、当初計画では考慮していなかった消防朝日分署も同じ敷地内に、例えば羽黒庁舎のように合築し、総合的に防災関係の対策にも対応した形ということも議論として出てきている。総合的な見地から多角的な検討が必要とされている。従って、お示ししていた年次計画についても見直しが入る予定であり、幸い合併特例債の発行期限も5年延長されるという情報もあるため、将来に禍根を残さないよう、拙速にならないような形で関係課とも協議をさせてもらいたいと考えている。昨年のこの会では意見として木の温もりや防災拠点としての在り方、ペレット等環境にも配慮した再生エネルギーや、合併特例債も考慮した財源の確保についても委員皆様から意見を賜っており、今後の方向性についてはこれらの意見についても合致していると考えているのでご理解をお願ひしたい。

その他、何か今の内容も含めて何か質問等があれば。

委員

健康のつどいについて伺いたい。これまでは開催時期が2月だったが、冬季間という事もあり交通の便からも7月に行うと伺っている。これまでの健康のつどいは地域内の関係者の活動報告なども行っていたが、7月の開催内容は認知症予防に関する講演のみで、各団体は活動報告のパネルを作成して展示し、発表も行わず講演を聞いて終わるという内容と聞いた。まして今年の開催日は平日の金曜午前中ということで、どのぐらいの参加者数を見込んでいるのか。

市民福祉課長

今年2月に健康のつどいを実施した際、大雪のため開催に影響がでたことから、開催時期についても再検討する契機となったと引き継いでいる。今年認知症予防セミナーに振り替えたというのは、今年度朝日地域が認知症予防の重点地域の指定を受けたことから今回のような内容になったという経過がある。確かに金曜の午前中という申し訳ない日程ではあるが、多くの方から参加をお願ひし、様々な機会を利

用して普及してほしいと考えている。これまでの活動報告について内容に盛り込めるかについてはなお検討させてもらいたい。

委員 今の件だが、今年だけ7月開催なのか。今後ずっと7月開催の予定なのか。
市民福祉課長 認知症予防の重点地域指定がどうなるかにもよるが、今年の7月開催については講師の日程調整等の都合もあった。内容や開催時期についても要望があればお聞かせいただきたい。

意見 これまで開催して10年以上も経過して馴染みもあり、関連する団体の発表会の場にもなっている。時期的にもそうだがグループの発表会もなくされるとさみしいと思うので考えていただきたい。

市民福祉課長 別の機会に同じような発表ができないか、少し検討させてもらいたい。
総務企画課長 他に皆様から何もなければ、帯刀副会長より閉会のご挨拶をお願いします。

8. 閉 会

○帯刀副会長

これをおもちまして本日の朝日地域振興懇談会を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。お疲れ様でした。